山武市建設工事の競争入札におけるくじ引き落札制限の試行について

1 はじめに

本市では、建設工事の競争入札について、受注機会の確保による地元企業の育成を図るため、先に開札した案件でくじ引きにより落札者又は落札候補者(以下「落札者等」という。)となった者が、その後に開札される案件でくじ引き対象になった場合は、くじ引き対象から除外し、他のくじ引き対象者から落札者等を決定する方式(以下「くじ引き落札制限」という。)を試行します。

2 適用対象

くじ引き落札制限は、建設工事の競争入札のうち、次に掲げる全ての条件を満たす複数の入札が執行される場合に適用します。

- (1) 同一日に入札公告を行い、かつ、同一日に開札する案件であること。
- (2) 発注工種(落札者等に求める許可を受けた建設業の種類。以下同じ。)が同一の案件であること。
- (3) 入札参加資格要件が同一の案件であること。
- (4) 入札公告にくじ引き落札制限の対象案件であることが明示されていること。

3 適用除外対象

上記に関わらず、次のいずれかに該当する入札は、くじ引き落札制限を適用しません。

- (1) 総合評価落札方式を適用する場合
- (2) 低入札価格調査を適用する場合
- (3) くじ引き対象者の全てが、先に開札した案件のくじ引き落札制限の落札者等のみの場合
- (4) その他市の発注を円滑に進めるに当たり、くじ引き落札制限が支障となる場合

4 留意事項

くじ引き落札制限については、次のことに留意してください。

- (1) 対象案件の開札順は、予定価格が高い順に設定するものとする。なお、対象案件の入札書提出締切時間は同日同時刻で設定するものとする。
- (2) 落札者等の決定は原則として開札順に行うこととする。なお、先に開札した対象 案件が、落札決定を保留した場合も同様とする。
- (3) 対象案件のうち、一部の入札案件が中止又は取止めとなった場合は、当該入札案件はなかったものとみなし、入札手続きを続行するものとする。

5 くじ引き落札制限のイメージ

開札順:予定価格の高い順

	案件1		案件2		案件3		案件4	
予定価格	5,000 万円		4,900 万円		4,800 万円		4,700 万円	
A者	4,700万円	落札候補者 (くじ1位)	4,600万円	くじ引き落札制限 によりくじ引きに 参加できない。	4,500 万円	落札候補者 (くじ1位)	4,400万円	落札候補者
B者	4,700 万円	(くじ2位)	4,600 万円	落札候補者 (くじ1位)	4,500 万円	(くじ2位)	4,500 万円	
C者	4,700 万円	(くじ3位)	4,600 万円	(くじ2位)	4,600万円		4,500 万円	
D者	4,700万円	(くじ4位)	4,600 万円	(くじ3位)	4,600万円		4,500万円	
落札制限 の適用	0		0		×		×	

留意点

- ※案件1は、最低価格入札者(A者~D者)によるくじ引きを実施した結果、くじ順位1位のA者が落札候補者となる。
- ※案件2は、A者を除く最低価格入札者(B者~D者)によるくじ引きを実施した結果、くじ順位1位のB者が落札候補者となる。(A者は案件1でくじ引きにより落札候補者となった者であるため、くじ引きに参加できない。)
- ※案件3は、最低価格入札者(A者及びB者)によるくじ引きを実施した結果、くじ順位1位のA者が落札候補者になる。(A者及びB者は、先に開札した案件でくじ引きにより落札候補者となった者であるが、くじ引き対象者のすべてが先に開札した案件のくじ引き落札制限の落札候補者のみの場合は、くじ引き落札制限の適用対象外。)
- ※案件4は、最低価格入札者のA者が落札候補者となる。(<u>この案件が、くじ引きによらない案件であるため、くじ引き落札制限の適</u>用対象外。)

6 くじ引き落札制限Q&A

- Q1 くじ引き落札制限の対象案件のすべての入札に参加することができるのか。
- A1 対象案件のすべての入札に参加することも、特定の入札のみに参加することも 可能です。
- Q2 開札順はどのように定めるのか。
- A2 開札順は、予定価格の高い順に定めます。
- Q3 通常の入札手続きと異なる点はなにか。
- A3 発注者は、入札公告にくじ引き落札制限の対象案件であることを記載します。 なお、入札は、電子入札システムにより、これまで同様に参加する入札ごとに行います。
- Q4 くじ引き落札制限の適用対象の「入札参加資格要件が同一」とはなにか。
- A 4 山武市条件付き一般競争入札資格要件設定基準別表第2の区分が同一であることです。